

東北地方 1か月予報

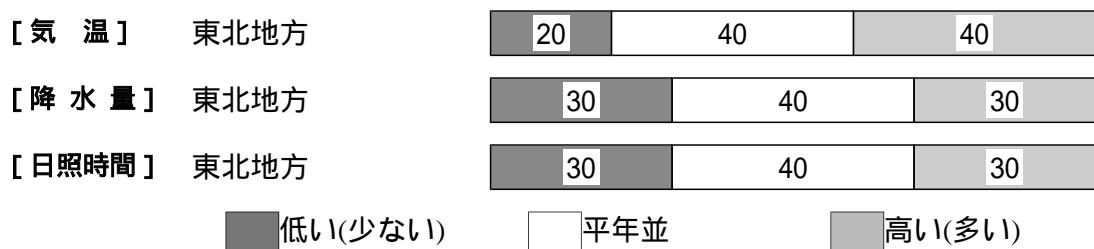
(7月17日から8月16日までの天候見通し)

平成22年7月16日
仙台管区気象台発表

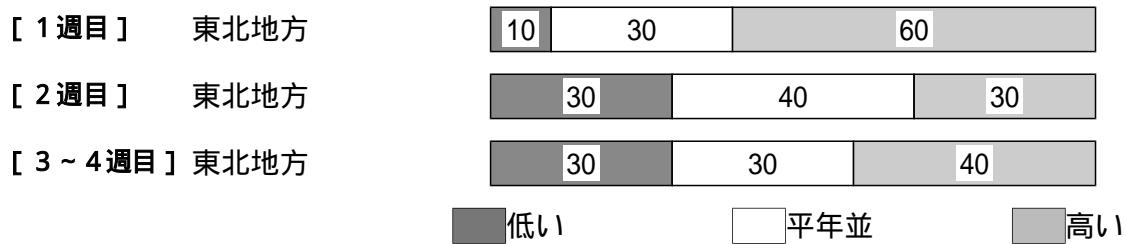
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。雷雨の起こりやすい時期がある見込みです。
向こう1か月の気温は、平年並または高い確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は高い確率が60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月17日(土) ~ 8月16日(月)
1週目 : 7月17日(土) ~ 7月23日(金)
2週目 : 7月24日(土) ~ 7月30日(金)
3~4週目 : 7月31日(土) ~ 8月13日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月23日
3か月予報：7月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	23.0	109.9	193.2	21.6	23.0	23.6
深浦	23.1	141.6	192.3	21.9	23.1	23.5
むつ	21.5	111.9	162.3	20.1	21.5	22.1
八戸	22.2	109.2	182.5	20.7	22.3	22.8
秋田	24.5	157.2	198.4	23.3	24.6	24.9
盛岡	23.3	157.9	163.7	22.2	23.5	23.7
大船渡	22.8	150.1	168.7	21.4	22.8	23.3
宮古	21.9	132.5	169.8	20.4	21.9	22.5
仙台	23.9	145.3	154.9	22.5	23.9	24.4
石巻	23.1	108.2	175.6	21.8	23.1	23.7
山形	24.8	134.3	185.2	23.6	25.0	25.2
新庄	23.9	159.9	183.5	22.8	24.0	24.4
酒田	24.9	154.7	215.5	23.7	25.0	25.3
福島	25.2	132.2	160.7	23.9	25.4	25.7
若松	24.8	135.6	201.7	23.8	25.0	25.2
白河	23.3	181.0	156.4	22.4	23.5	23.7
小名浜	23.3	109.9	189.7	22.2	23.2	23.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.7	74 ~ 118	90 ~ 112
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	76 ~ 116	91 ~ 112
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.8	75 ~ 119	91 ~ 113

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8 ~ +1.1	-0.5 ~ +1.1	-0.5 ~ +0.9
東北日本海側	-0.7 ~ +0.9	-0.6 ~ +1.0	-0.7 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.8 ~ +1.2	-0.5 ~ +1.3	-0.4 ~ +0.9

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成22年7月16日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月17日~8月16日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。雷雨の起こりやすい時期がある見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

1週目(7月17日~7月23日) :

気圧の谷や前線の影響で曇りの日が多く、期間のはじめと終わりは雨の降るところがあるでしょう。期間の中頃は晴れる日がある見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

2週目(7月24日~7月30日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。雷雨の起こりやすい時期がある見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(7月31日~8月13日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

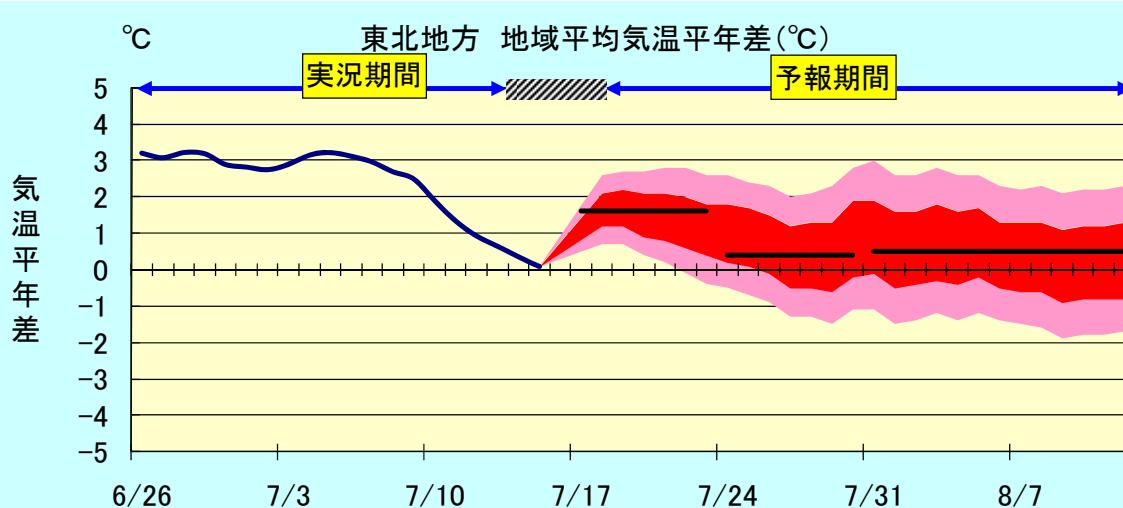
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.1日	3.5日	4.2日	8.4日
東北太平洋側	14.2日	2.8日	3.7日	7.7日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3~4週目は平年付近の予想となっている。



・グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。

・予報期間には7日間平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示。

・水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。

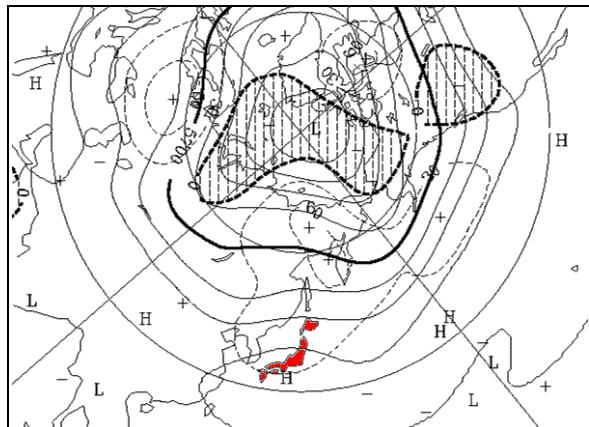
・ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいます。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 太平洋高気圧が本州付近に張り出す。日本付近を含む中緯度帯は広く正偏差におおわれ、高温傾向が予想される。

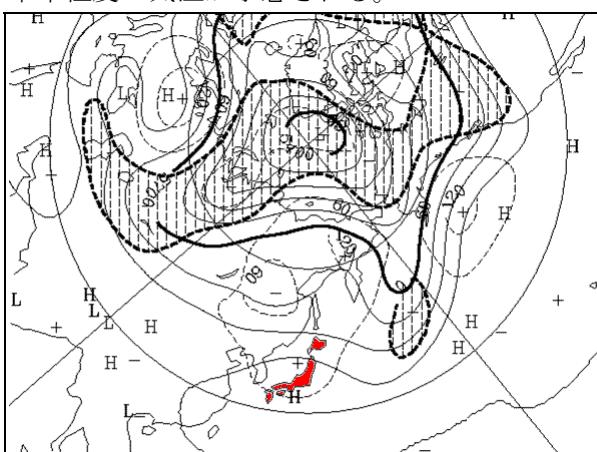
1週目: 日本付近を含む極東域は広く正偏差におおわれる。5880m 等高度線が青森付近まで北上しており、太平洋高気圧の北への張り出しが予想される。850hPa 気温予想図（図略）でも正偏差におおわれ、高温が予想される。

2週目: 引き続き日本付近を含む極東域は広く正偏差におおわれる。5880m 等高度線が関東付近まで南下しており、太平洋高気圧の北への張り出しが弱まる見込み。850hPa 気温予想図（図略）でも正偏差におおわれているが、偏差は小さく、平年程度の気温が予想される。

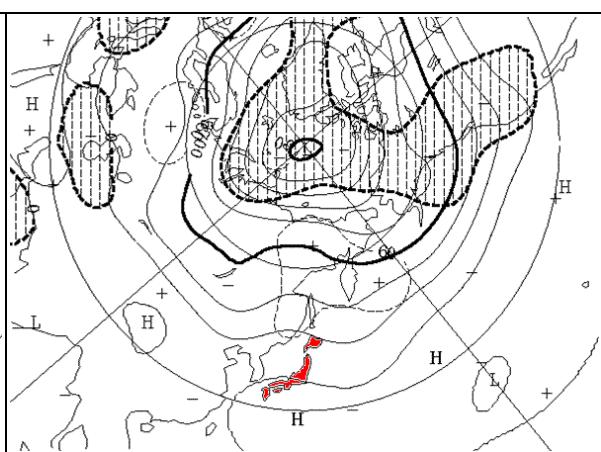


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

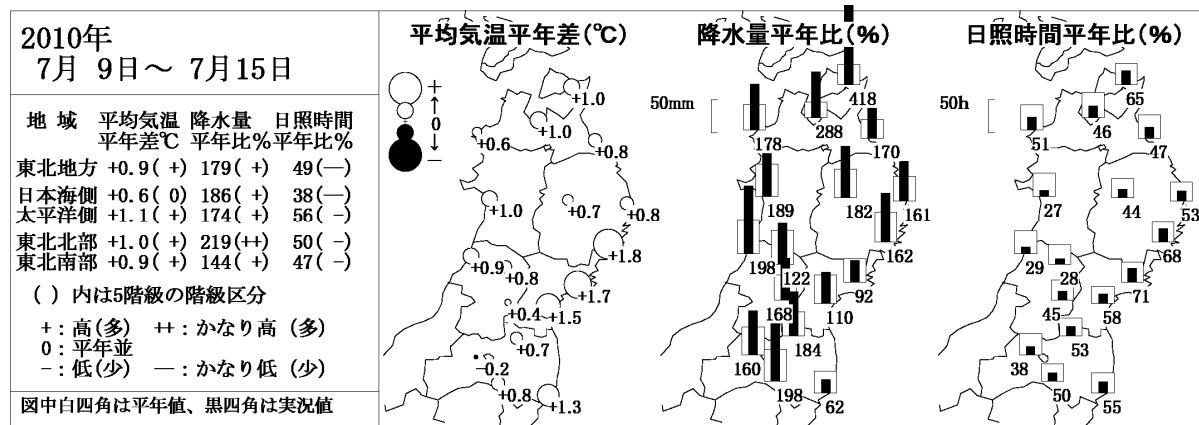
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (7月9日～7月15日) の天候の経過

この期間、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。10日から12日にかけては、低気圧が次々と通過した影響で荒れた天気となり、青森県や秋田県で強風による被害や、大雨による浸水、山がけ崩れなどが発生した。気温は、期間の前半を中心に太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が流れ込み、高めとなった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）